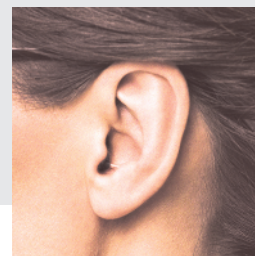


ビジョンメガネから

耳のこと補聴器のこと



○聞こえるってどういうこと？

人の耳はとても精巧にできています。耳の中にある細胞は、細胞ごとに周波数の違う音の分析を行い、私たちに聞こえを届けてくれています。常に働き続けている耳も、あらゆる音に長期間さらされ使い続けているうちに、細胞はダメージを受け音が聞こえにくくなります。聴力の低下は、高い音を拾う細胞からダメージを受けやすく、高い音から聞こえにくくなり、賑やかな場所や雑音の中の聞きたい会話の音を聞き分けにくくなっていきます。これが一般的な聴力の低下です。このことから視力の低下と同じように、聴力の低下も誰にでも起こる可能性があることがわかります。

左右の聴力が同じレベルで低下することから本人にはあまり自覚がなく、「加齢」というイメージもあり無意識に避けてしまうこともあります。放っておくと聞き間違いや相手の話を誤解したり、さらには会話自体を避け、家族や職場、周囲とのコミュニケーションに支障をきたしてしまいます。また外からの情報が入ってこない、会話がない状態が続くことは、認知症やうつになる可能性もあります。

加齢による聴力の低下は決して特別なことではありません。聞こえの不自由さを我慢し続ける前に、ご自身やご家族の聞こえ、補聴器について知ってみませんか。

○補聴器でできることって？

補聴器は日々進化し、より快適により使いやすくなり、あなたの生活にとって必要な音をしっかり届けてサポートをしてくれます。補聴器をつけるとどんな風に聞こえるのでしょうか？

○言葉をはっきり届けてくれる

補聴器は周囲の雑音を抑えて、話し相手の言葉をはっきり聞こえるから、会話が生まれます。

○テレビや電話を高音質で楽しめる

電話の声も明瞭に聞こえ、家族とも同じボリュームでテレビを楽しめるから、家族団欒の時間が過ごせます。

○わずかな小さい音、周囲の音も逃さずキャッチしてくれる

インターホンの音、自分の足音、車や自転車が近づく音を必要な音量で届けるから、危険回避になります。

○Q&A

Q1：補聴器を使うと聴力はさらに低下しますか？

A：補聴器はメガネのように、聞こえをサポートするためにあります。販売店で調整を行った補聴器をお使いいただければ、聴力が落ちることはありません。ただし音が大きすぎるような状態で長時間使用した場合は、聴力が低下してしまうこともあります。たとえ聴力が変化しても、補聴器はその時々調整して使い続けることができます。

Q2：補聴器は何年くらい使えますか？

A：総合支援法で耐久年数は5年が目安とされていますが、補聴器を長持ちさせるために、販売店で定期的なメンテナンスやご自身の日々のお手入れを行うことで長く使用されている人もいます。

Q3：補聴器の操作は簡単ですか？

A：補聴器は自動的に音の処理をするなど性能が上がってきているため、操作はとても簡単になってきました。電池交換も慣れてしまえば難しいということはありません。

Q4：補聴器の価格はどのくらいですか？

A：補聴器は安いもので片耳5万円から高いもので片耳50万円と幅広くあります。性能や聞きたい音、今の聴力など、ご自身にあった補聴器をお選びください。

Q5：集音器との違いはなんですか？

A：補聴器は管理医療機器に認定され、大切な声と聞きたい音をオーダーメイドで設定し耳に届けるのに対して、集音器は医療機器ではなく、音量は調節できても周囲の音を増幅させて耳に届ける器機です。

あなたやご家族がいまどのくらい聞こえているのでしょうか？ 聞こえのセルフチェックをしてみましょう



聞こえのセルフチェック

- 会話をしている時、時々聞き返すことがある
- 小さな話し声が聞き取りにくい

NO

1つでも「YES」があったら下へ

YES

- 後ろで話している会話が気が付かないことがある
- テレビやラジオ、音楽などの音が大きすぎると家族に注意される
- 話を正確に聞き取れていないのに、相槌を打つことがある

NO

1つでも「YES」があったら下へ

YES

- 電話のボリュームを上げてても声が聞き取りにくいことがある
- 病院や役所、銀行などで呼ばれても聞き逃すことがある
- とても大きな声での会話のみ聞き取れる

NO

1つでも「YES」があったら下へ

YES

- 大きな声で正面から話をされても聞き取れないことがある
- 目の前の電話の音が聞き取れない

NO

YES

聴力レベル・補聴器の必要性

正常 0dB

今のところ補聴器は必要ないでしょう。

軽度 25dB

二度聞きや聞き間違いがある

普段の生活ではそれほど不自由を感じていないかもしれませんが。二度聞きや聞き間違いによるトラブル回避や補聴器を上手に使いこなすには、この聴力レベルからの使用をオススメします。

中度 40dB

大きめの声でないとう聞き取れない

聞こえにくいことで人と話すのがおっくうになっていませんか？何度も聞き返されると話し相手も疲れて面倒になってしまいます。ご自身のため、周囲の人のためにも補聴器を装着されることをオススメします。

高度 70dB

耳元で大きな声でなければ聞き取れない

聞こえにくいことで不便を感じる事が多くなっていませんか？ご家族からの指摘もイヤになっていませんか？会話がなくて疎外感を感じたりします。補聴器の装着をぜひ考えてみてください。

重度 90dB

耳元での大きな声も聞き取れない

会話はもちろん、後方からの車や自転車などの音も聞こえなくなっていますか？このままでは日常生活も非常に危険な状態です。補聴器は必需品と言えます。

*セルフチェックシートはあくまでも目安です。
補聴器取扱店や耳鼻科などでカウンセリングを受けられることをおすすめします。